



ひふのたね



当院では2023年4月より皮膚科を開設しています。
皮膚についてのためになる話をご紹介します。



皮膚科の大切さ

昔から皮膚に関する病気はとても身近です。かつてはハンセン病や梅毒、天然痘などによる皮膚症状で苦しみ、命をおとすことさえありました。現代ではハウスダスト、ダニ、花粉、アレルギー、薬の副作用などによる皮膚症状に悩む方が増えています。また、皮膚は直接見える場所であるために人の目が気になったり、持続するかゆみが気になったりしてストレスを感じる方も多いです。

皮膚科では皮膚の状態を直接目で見て観察でき、検査や処置などの適切な方法を探ることができます。また、**内臓の病気が皮膚症状としてあらわれる**こともあり、皮膚科から適切な診療科に紹介することもあります。昔から現在まで、皮膚については日常生活に近い悩みのひとつです。お悩みや不安がありましたら、皮膚科への受診をおすすめします。

皮膚についてのアドバイス

すり傷や切り傷などのケガをした時の対処法をご紹介します



久山陽子医師より

ケガをしたときは、水道水で洗い流すことをおすすめします。

浅い傷なら、洗い流すだけでも良いです。**擦れて痛いようなら外用剤をぬってガーゼで保護します。**皮膚科を受診していただくと**適切な外用剤を処方**いたします。

寒くなるにつれて、あたたかい料理を食べたり暖房器具を使ったりすることが多くなります。やけどをした時の応急処置をご紹介します

久山陽子医師より

流水で流したり保冷剤で冷やしたりします。

すり傷や切り傷の時と似ているところもありますが、**やけどの深さによっても対応が異なります**ので皮膚科受診いただくことをおすすめします。

不安なことがありましたら、お気軽に皮膚科でご相談ください！